

三井V-Net関西支部から「ラグビーワールドカップ2019TM日本大会」ボランティア募集の案内をいただき、W杯史上最高の応募者数38,000人超えの中から、幸運にも13,000人の一人に選ばれ、晴れて「TEAM NO-SIDE」の一員となりました。

私は30歳台からボランティアに参加していますが、今大会は初めて体験するボランティア育成システムでした。申し込み・当落発表・各種トレーニングのほとんどが公式サイト上で行われました。中でもラグビーの発祥・ルール・参加国の紹介・活動に役立つ基本知識等々の学習は必修で、講習のお陰で、大会開始時にはおおむね把握できていました。

私の担当は神戸地区で『街なか&ファンゾーン』。スタジアムから少し離れたメリケンパークが活動場所でした。試合前から各国のユニフォーム・キルト等の民族衣装、応援ウエアを着たファンが集まり、応援歌の大合唱、対戦国のファン同志がお互いの健闘を祈る握手、ハグ・談笑……ビールも売り切れるほどの大盛況。スタジアムに負けない盛り上がりで大興奮でした。そして、ファンの皆さんのマナーの良さには驚かされました。



今回初めて知ったのですが、なんとラグビーの優勝賞金は0円です。「大会に出場することが最大の荣誉」とされ、優勝賞金は設定されていません。その代わり優勝チームの選手には純金製の金メダルが授与されるほか、優勝カップ「ウェブ・エリス・カップ」の台座に歴代優勝チーム名が刻印されます。選手たちはそれを目指して日夜努力しています。(ちなみに2018年のサッカーW杯の優勝賞金は43億円でした)

神戸での活動は10月8日で終了、20日の準々決勝南アフリカ戦は、大阪市内のパブリックビューイングで観戦、応援しました。南アフリカの半端ないフィジカルに屈しましたが、「ノーサイド」の後のセレモニーでは、会場も感動・感謝の涙、涙……号泣。まだまだ興奮は冷めやみませんが、この世界的ビッグイベントに参加出来たことは、生涯の自慢の一つとなりました。

ホスト国としてのニッポンの One Team にも拍手です。

「礼に始まり礼で終わる」日本の“おもてなし”精神は世界各国から称賛されています。

One for all !
All for one !
One Team !

この精神を今後の活動に活かしていきます！

